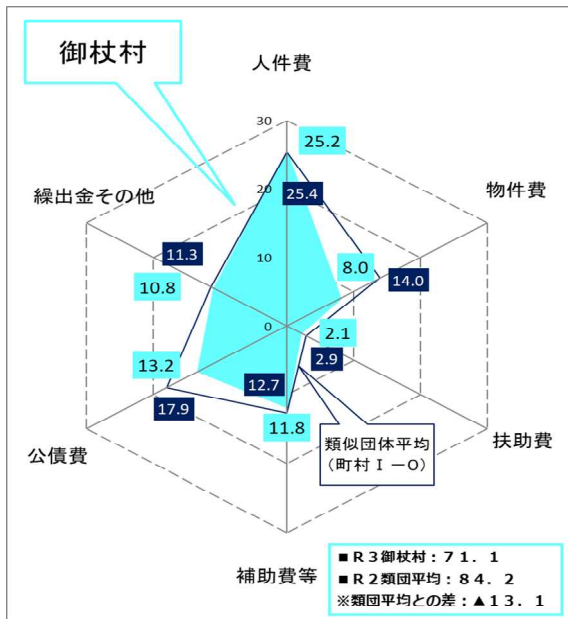
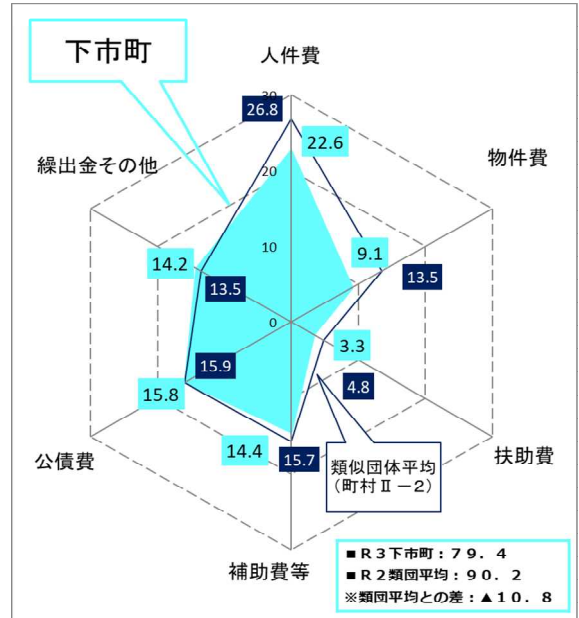
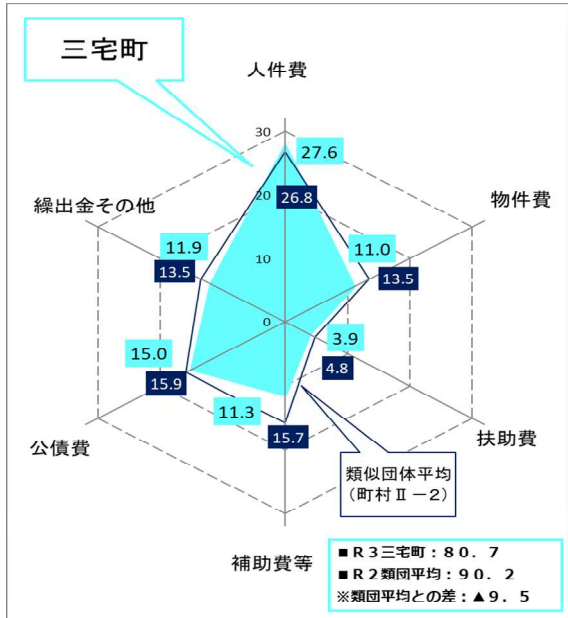
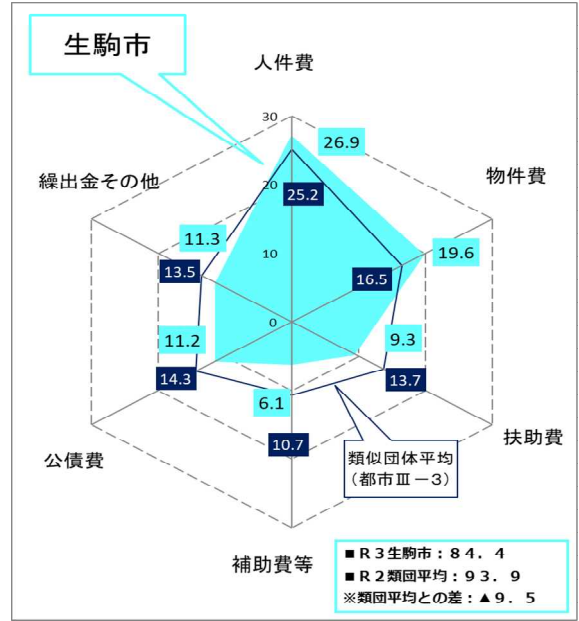
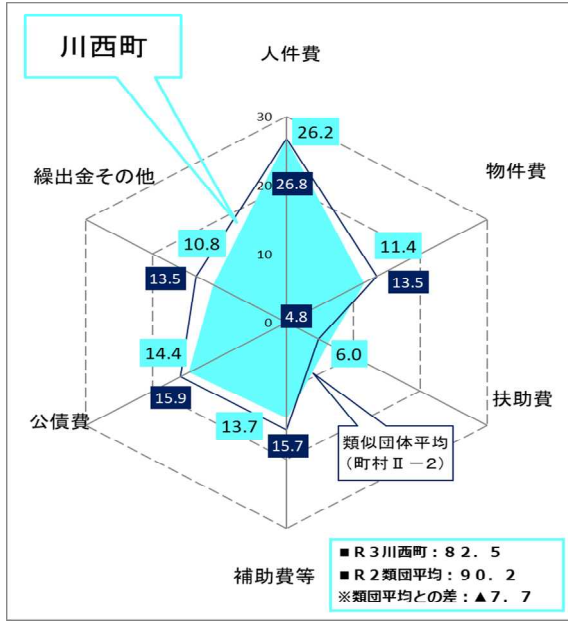


各市町村別・性質別経常収支比率の類似団体平均との比較(その7)

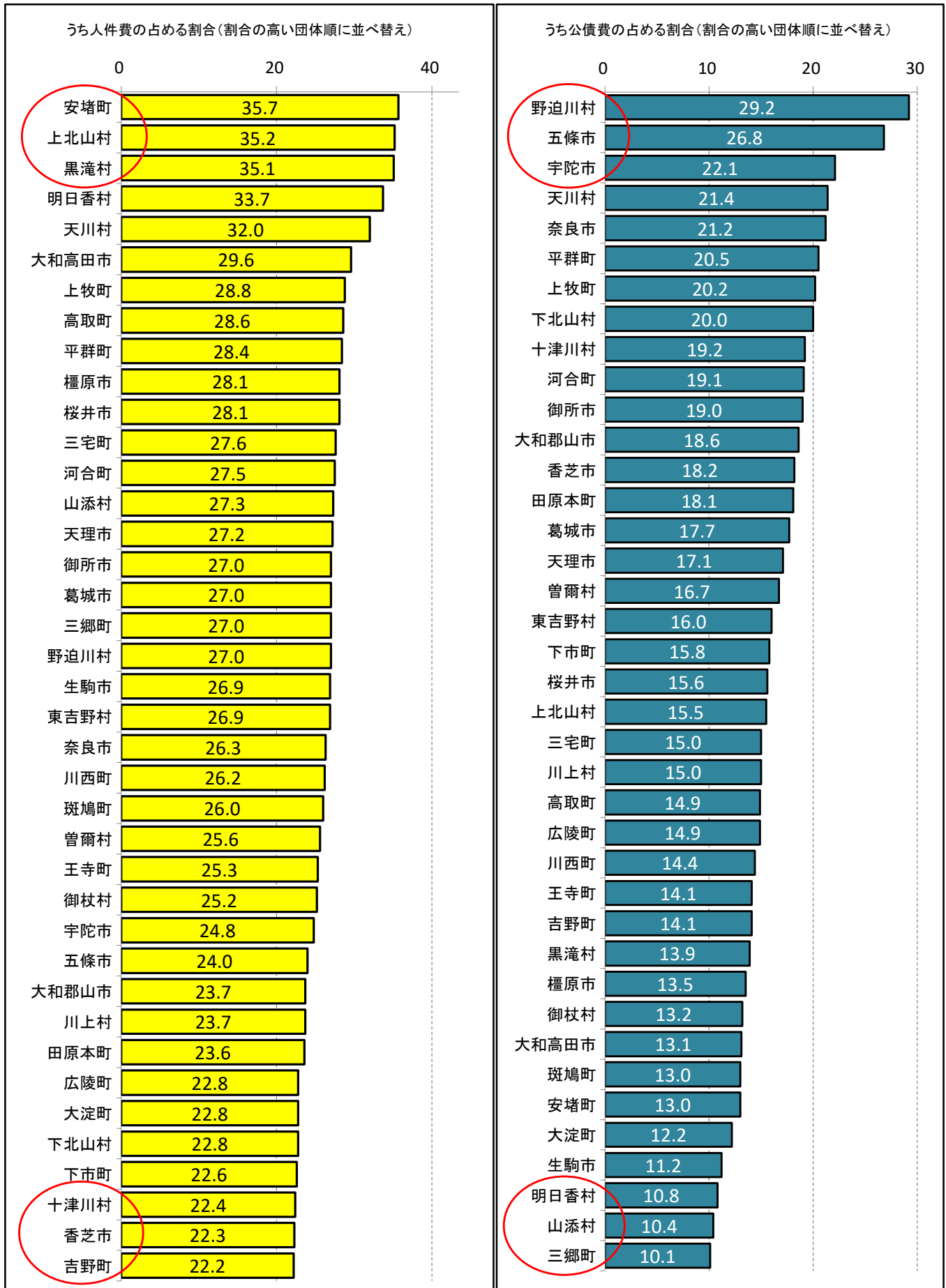
資料2③



県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳(うち人件費、公債費の占める割合)

資料2④

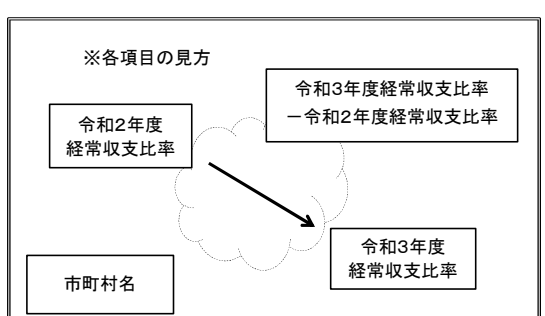
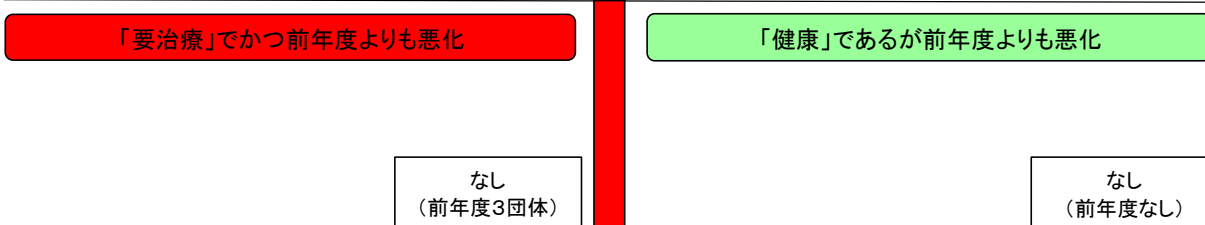
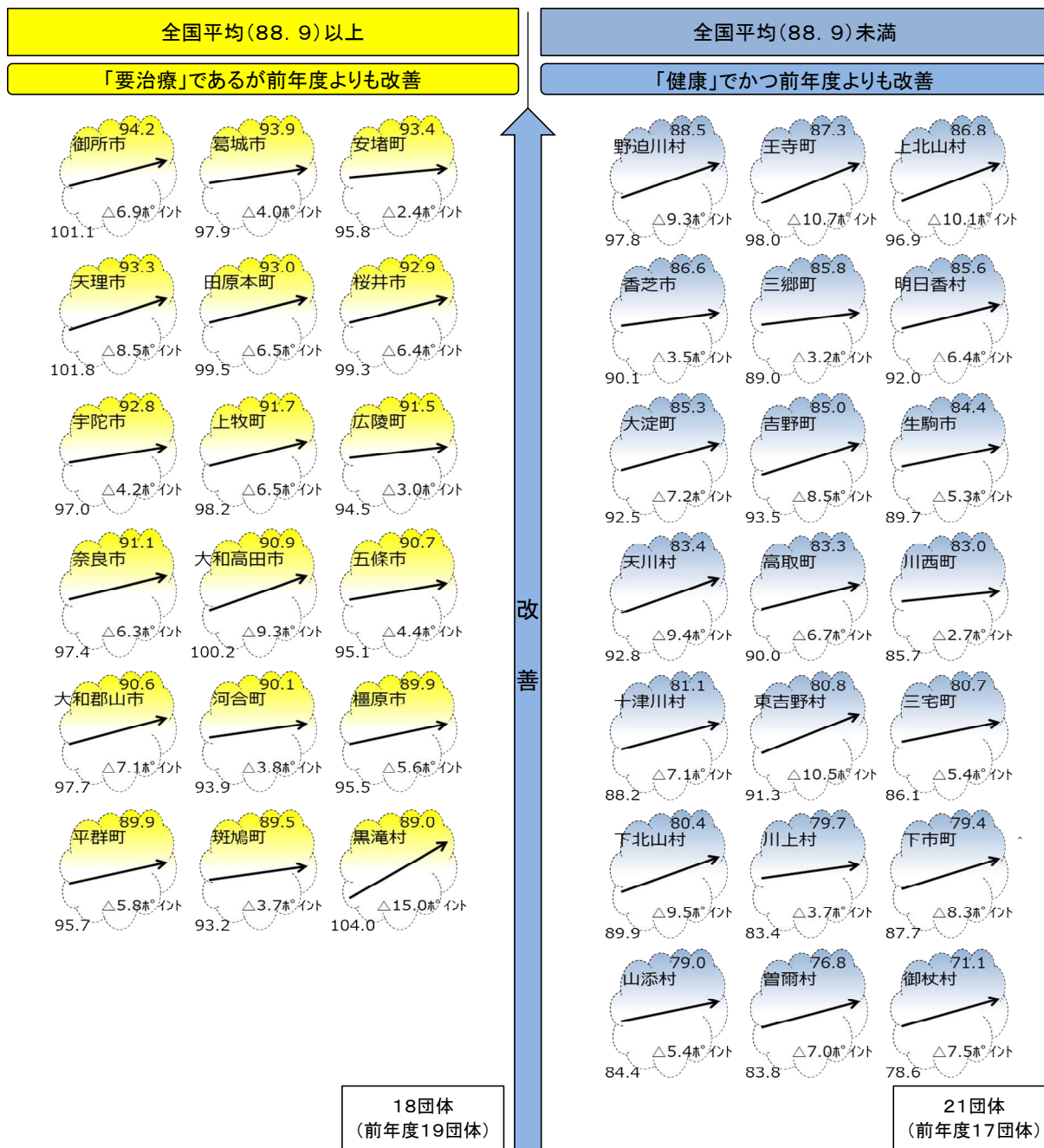
- 令和2年度の経常収支比率に占める人件費の割合が高い団体は、安堵町、上北山村、黒滝村などで、低い団体は吉野町、香芝市、十津川村など。
 ○令和2年度の経常収支比率に占める公債費の割合が高い団体は、野迫川村、五條市、宇陀市などで、低い団体は三郷町、山添村、明日香村など。



県内各市町村の経常収支比率の健康診断表
(全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料3

- 県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する18団体は、全て前年度よりも改善。
- 「健康」領域に属する21団体は、全て前年度よりも改善。



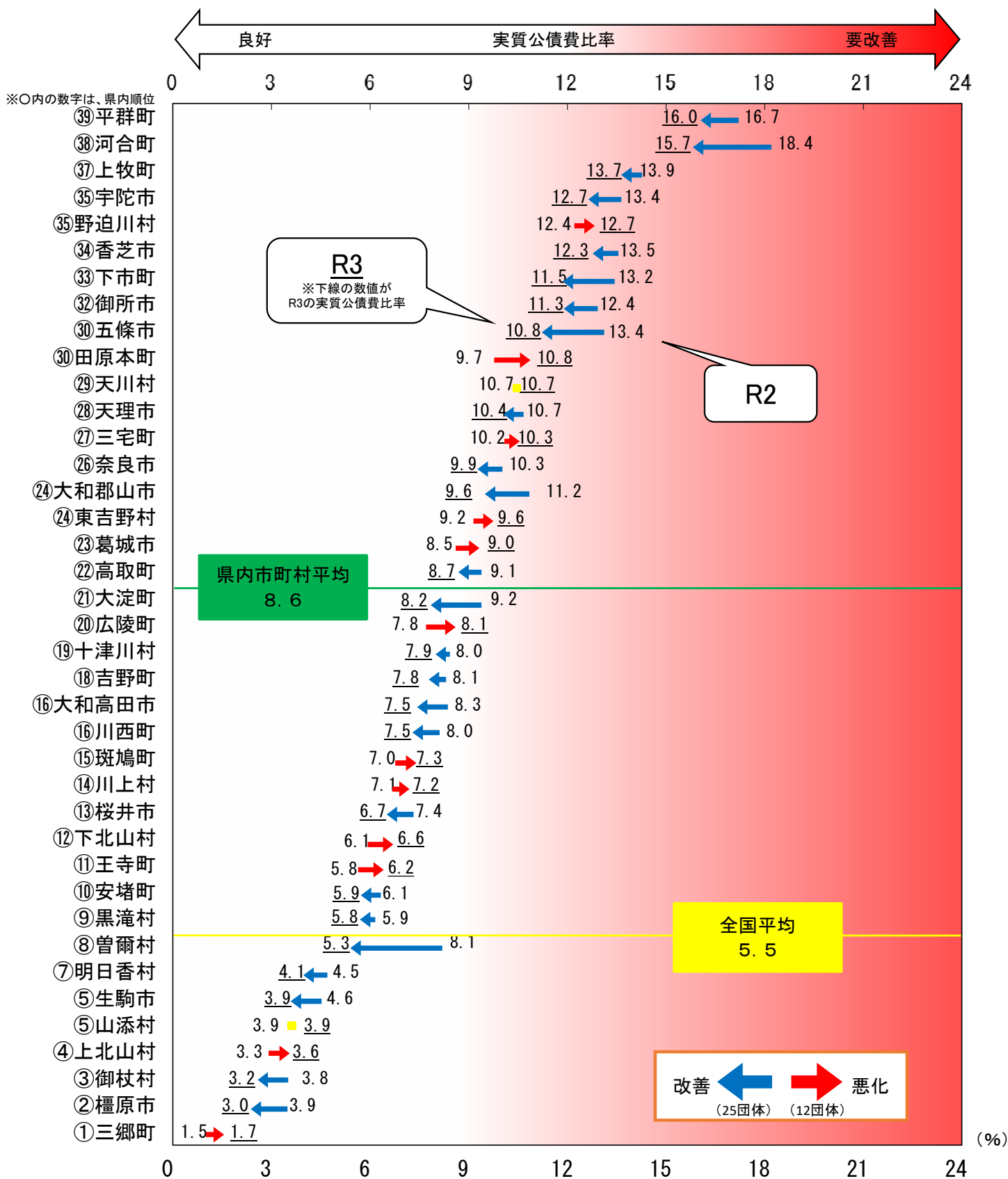
「健康」とは、経常収支比率が
全国平均未満であることをいう。

「要治療」とは、経常収支比率が
全国平均以上であることをいう。

県内各市町村の実質公債費比率の対前年度比較

資料4

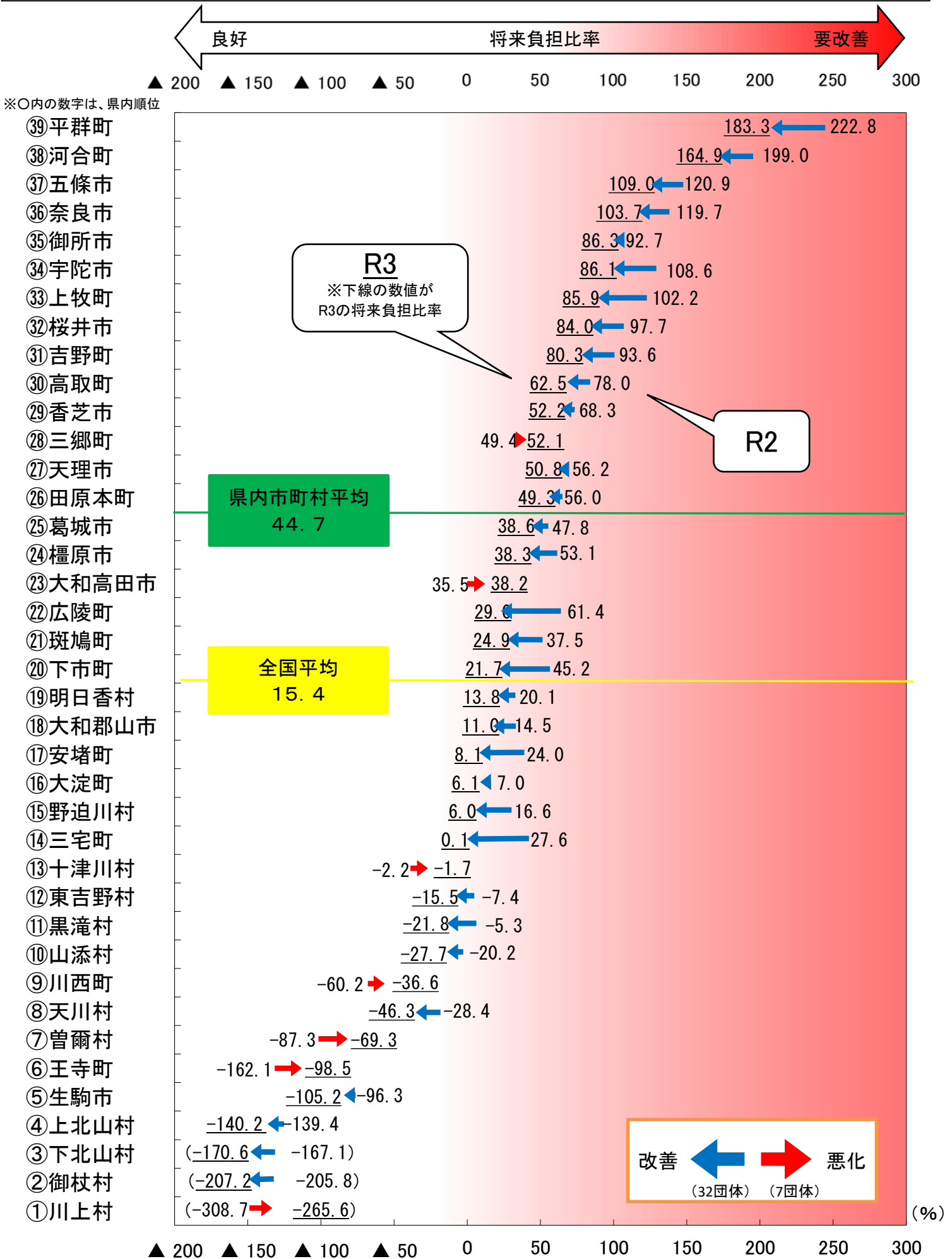
○前年度より改善した団体は25団体、悪化した団体は12団体、前年度と変動なしが2団体。
○実質公債費比率が全国平均より高い団体は、31団体(前年度32団体)。



県内各市町村の将来負担比率の対前年度比較

資料5

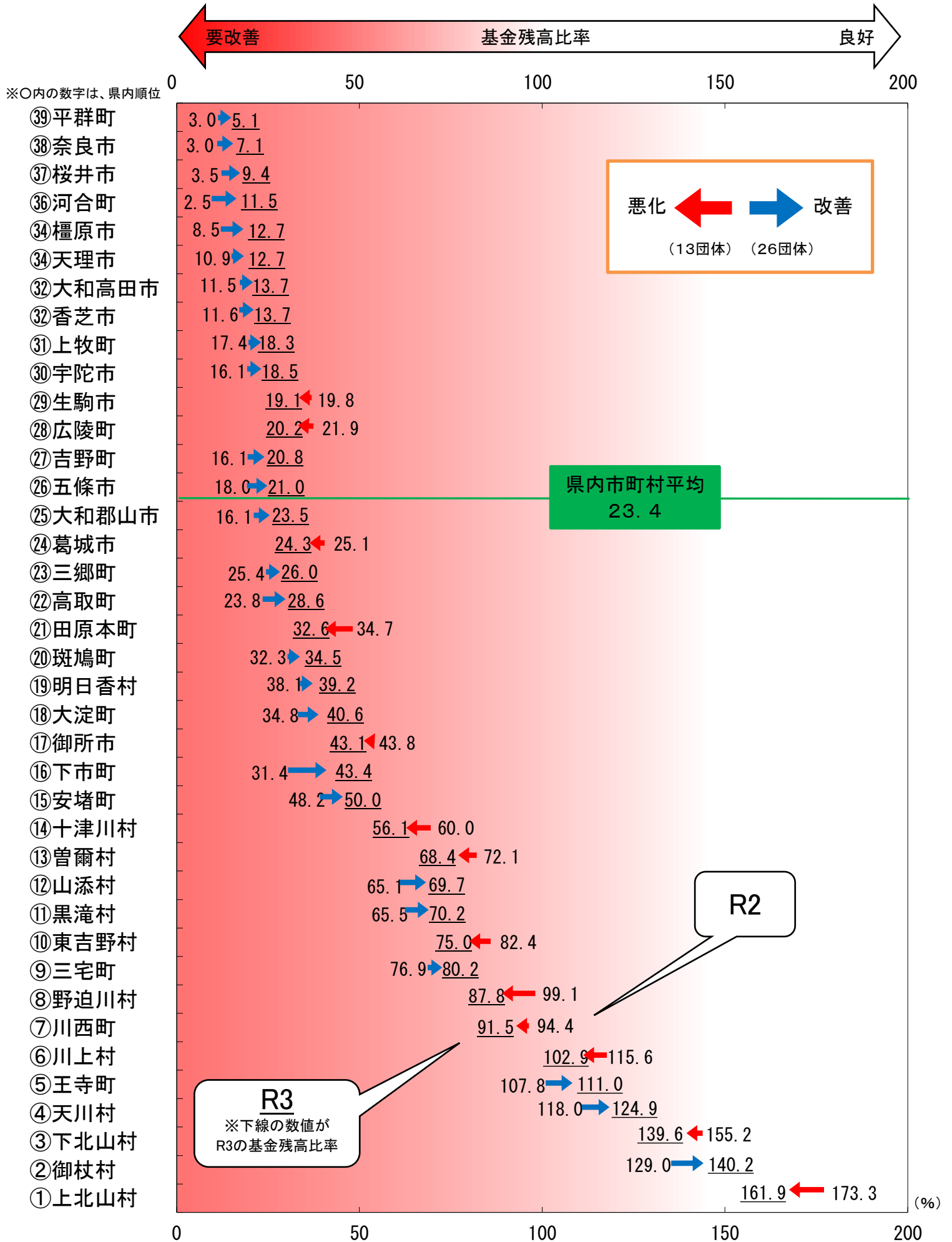
○前年度より改善した団体は32団体、悪化した団体は7団体。
○将来負担比率が全国平均より高い団体は20団体(前年度21団体)。



県内各市町村の基金残高比率の対前年度比較

資料6

○前年度より改善した団体は26団体、悪化した団体は13団体。
○5%未満の団体はなし。(前年度4団体)



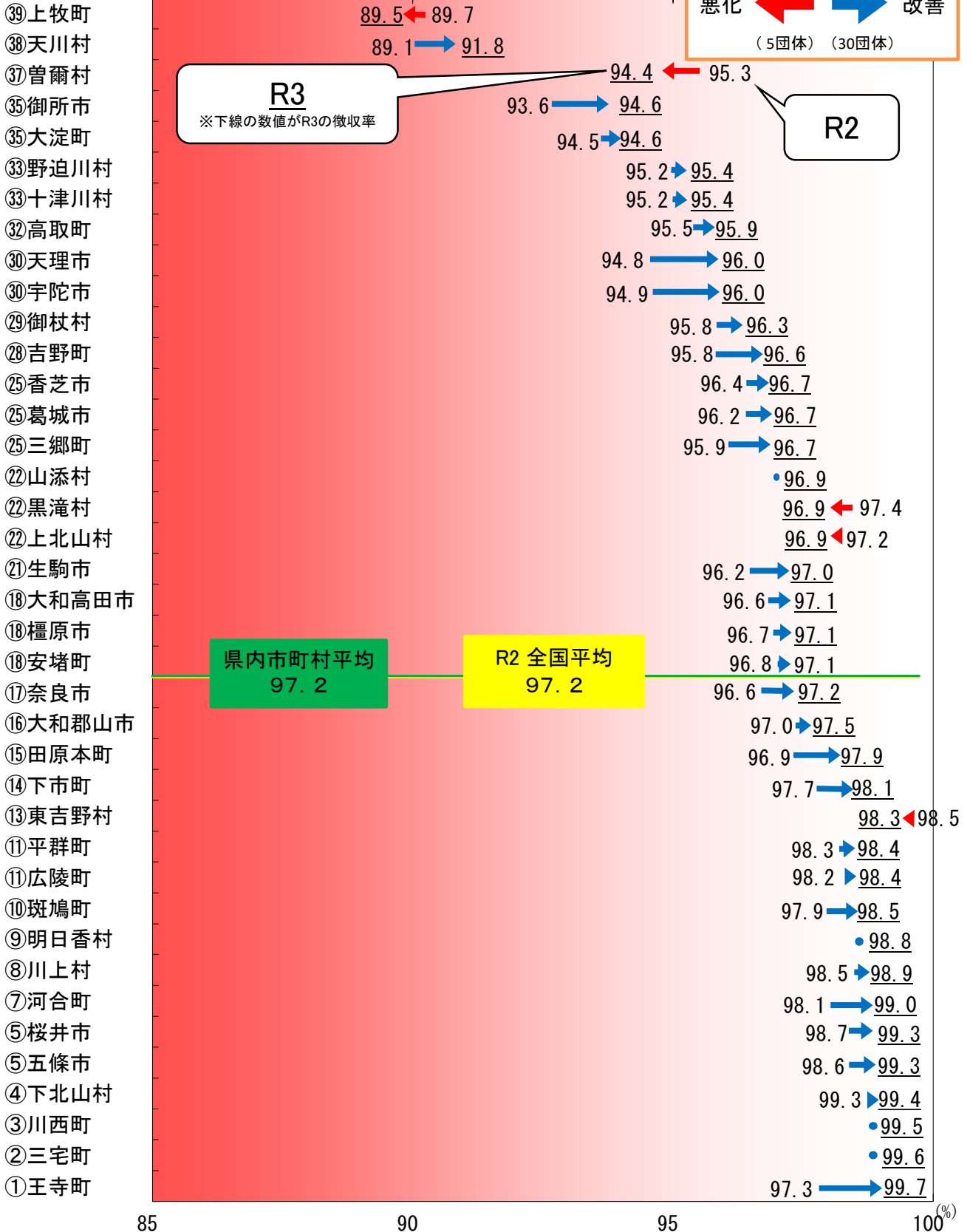
県内各市町村の市町村税徴収率の対前年度比較

資料7

○ 前年度より改善した団体数は30、悪化した団体数は5、前年度と変動なしが4団体。
 ○ 天川村・王寺町・天理市・宇陀市・御所市・田原本町が大きく改善。



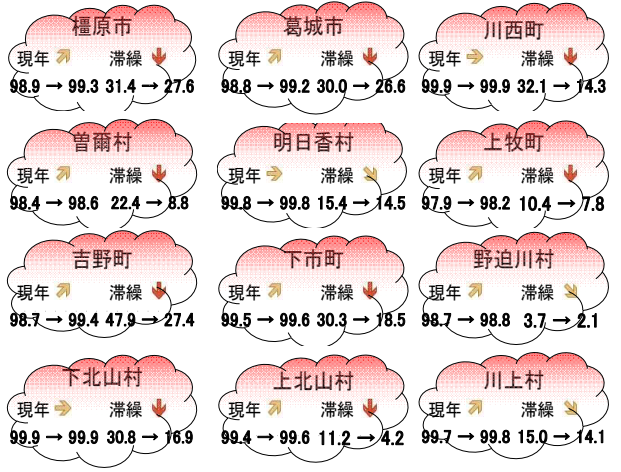
※○内の数字は、県内順位



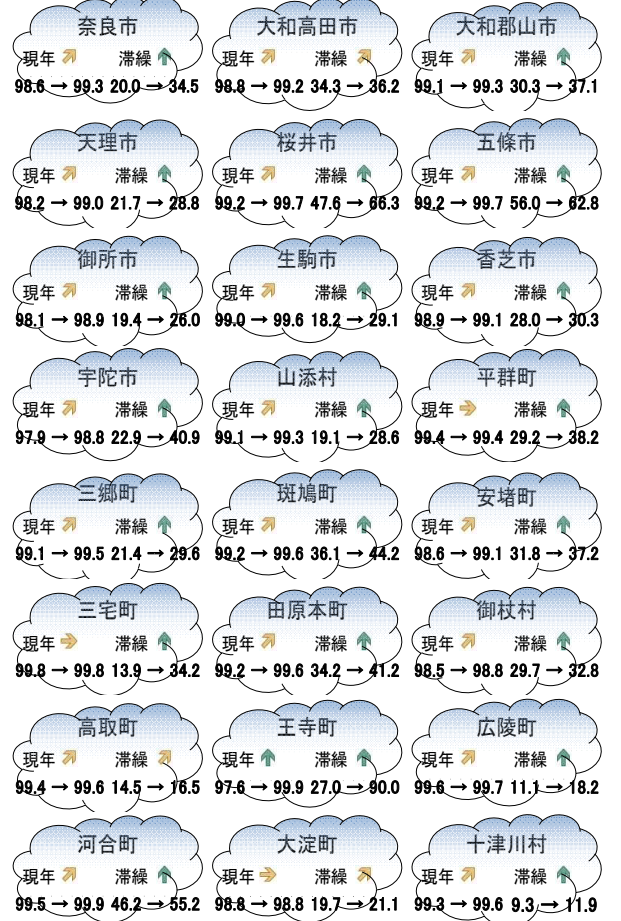
県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス

○県内各市町村の市町村税徴収率を、現年課税分徴収率と滞納繰越分徴収率の対前年度増減で区分し整理。
 ○現年課税分徴収率が前年度より改善した団体は36団体で、このうち滞納繰越分徴収率が前年度より改善した団体は奈良市など24団体、前年度より悪化した団体は橿原市など12団体。
 ○現年課税分徴収率が前年度より悪化した団体は3団体で、全ての団体で滞納繰越分徴収率も前年度より悪化した。

「現年」改善であるが「滞繰」が悪化



「現年」改善でかつ「滞繰」も改善



「改善」とは、税徴収率が前年度以上であることをいう。
 「悪化」とは、税徴収率が前年度未満であることをいう。

12団体 (前年度7団体)

24団体 (前年度8団体)

【記号の説明】
 改善 ↗
 うち+2%超 ↗
 悪化 ↘
 うち▲2%超 ↘
 変動なし →

「現年」悪化でかつ「滞繰」も悪化



3団体 (前年度7団体)

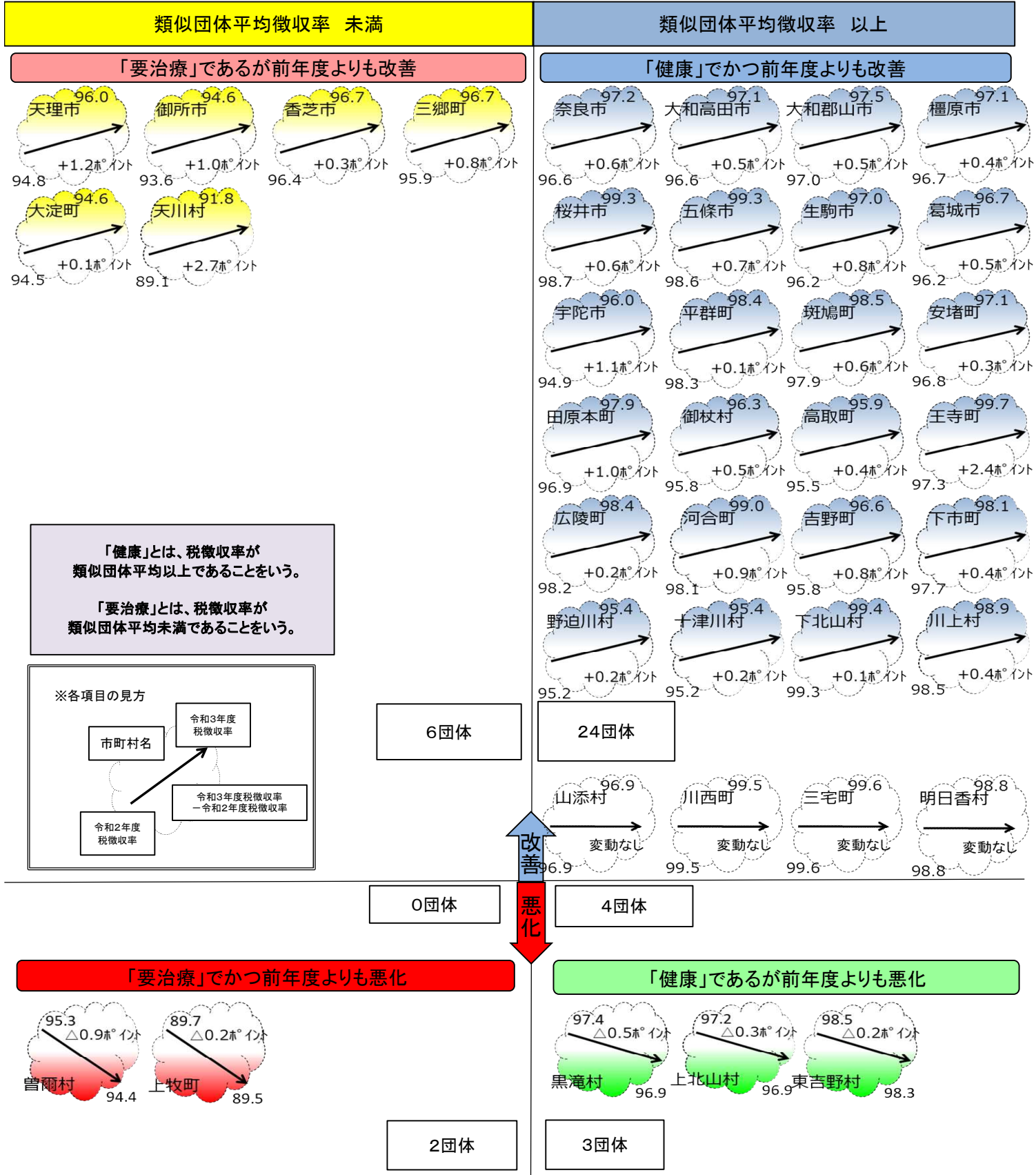
「現年」悪化であるが「滞繰」が改善

0団体 (前年度17団体)

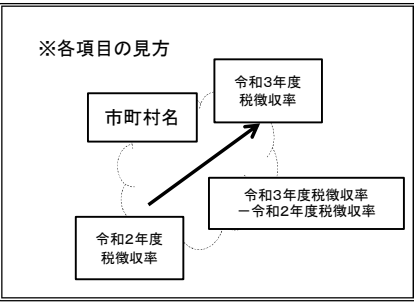
県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表 (類似団体平均徴収率を目安に「健康」と「要治療」に区分)

資料9

- 県内各市町村の令和3年度市町村税徴収率を類似団体平均徴収率(令和2年度)を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
 - 「要治療」領域に属する8団体のうち、曾爾村など2団体が前年度よりも悪化し、天理市など6団体が前年度よりも改善。
 - 「健康」領域に属する31団体のうち、黒滝村など3団体が前年度よりも悪化し、奈良市など24団体が前年度よりも改善。
- 山添村など4団体は変動なし。



「健康」とは、税徴収率が類似団体平均以上であることをいう。
「要治療」とは、税徴収率が類似団体平均未満であることをいう。



改善
悪化